

(別記)

坂城町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

坂城町では、水田転作の推進により、りんご・ぶどうの果樹栽培やバラ等の花卉施設栽培の振興が図られてきたが、近年では担い手を中心に、麦、大豆、加工用米等の戦略作物の作付が増加し、二毛作や、複数年契約による加工用米の出荷が行われている。

しかしながら、農家の高齢化や後継者不足が深刻化し、耕作放棄地等の遊休農地の増加が懸念されているところであり、遊休農地の有効利用や農地中間管理機構等の活用により担い手へ農地の集積・集約化等を推進していく必要がある。

また、中山間地域などの条件不利地においても調整水田や保全管理田などの不作付地が増加傾向である。

2 作物ごとの取組方針等

近年の米需要の減少傾向が続けば、水稻作付面積の減少により、不作付田が増大し、耕作放棄地の拡大につながる恐れがあるため、産地交付金を活用し、地域の特色ある農業の振興によって、水田の最大限の活用を図り、水田農業の多面的機能の発揮を目指すこととする。

(1) 主食用米

消費者ニーズを的確に捉え、地元産米の消費宣伝及びブランド化をすすめ、地元の米は、地元で消費をする需給体制と「売れる米」の両立を目指す。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

これまで当該地域では生産実績がなかったが、平成30年産より飼料用米の取り組みを考えている農家がいるため、国からの産地交付金、町からの補助金等を活用し、飼料用米を転作作物として定着させる取り組みを推進する。

イ 米粉用米

取り組みなし。

ウ 新市場開拓用米

取り組みなし。

エ WCS用稲

取り組みなし。

オ 加工用米

配分された生産数量目安値の達成に対し、加工用米の取り組みに依存している部分が大いいため、地域振興作物として、JAながのが行う全農スキームで取り組む。

加工用米の生産振興を図り、生産性向上の取り組みとし、加工用米の複数年契約と坂城町で作成している農薬使用基準より 30%削減により生産する。

カ 備蓄米
 取り組みなし。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦について、当該地域の農産物加工施設における地域農産物の活用のほか、学校給食用原料としても供給できる体制づくりを推進し、生産拡大を目指す。
 また、大豆についても汎用機械の利用により、作付の推進を図る。

(4) そば、なたね

転作の推進を図るとともに、生産拡大を図る。

(5) 高収益作物（野菜等）

地域振興作物として野菜の生産を振興し、作付定着を図る。
 特に、アスパラガス、トマト、玉ねぎ、ほうれん草、野沢菜、その他野菜については、不作付地への作付拡大を推進する。

(6) 畑地化の推進

取り組みなし。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	144.1	143.0	141.0
飼料用米	0	0.3	1.0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	0	0	0
加工用米	12.4	12.5	13.0
備蓄米	0	0	0
麦	5.0	5.5	7.0
大豆	7.9	8.5	9.5
飼料作物	0	0	0
そば	2.9	3.0	4.0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	17.7	18.5	21.0
・野菜	16.5	17.0	19.0
・花卉	1.2	1.5	2.0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				現状値	目標値
1	アスパラガス、トマト、たまねぎ、ほうれんそう、野沢菜、キク（基幹作物）	地域振興作物の作付拡大に係る助成（品目限定）	アスパラガス、トマト、たまねぎ、ほうれんそう、野沢菜、キク（基幹作物）の作付面積	(29年度) 0.4ha	(32年度) 2.0ha
2	野菜、花卉及び花木（別紙）（基幹作物）	地域振興作物の作付拡大に係る助成	野菜、花卉及び花木（基幹作物）の作付面積	(29年度) 1.7ha	(32年度) 3.0ha
3	麦・大豆（基幹作物・二毛作）	麦・大豆の単収向上の取り組みに係る助成	・麦、大豆（基幹作物・二毛作）の作付面積 ・麦の10aあたりの収穫量 ・大豆の10aあたりの収穫量	(29年度) 12.2ha (29年度) 241kg/10a (29年度) 177kg/10a	(32年度) 16.0ha (32年度) 260kg/10a (32年度) 180kg/10a
4	加工用米（基幹作物）	加工用米の生産性向上の取り組みに係る助成（30年産限り）	加工用米の作付面積	(29年度) 12.4ha	(30年度) 13.0ha
5	加工用米（基幹）	加工用米に係る複数年契約の取組（地域の取組に応じた配分の対象分）	支払い対象面積	(29年度) 0.1ha	(30年度) 0.1ha
6	飼料用米、米粉用米（基幹）	飼料用米、米粉用米に係る多収品種の取組（地域の取組に応じた配分の対象分）	支払い対象面積	(29年度) 0ha	(32年度) 1.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり